

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信



かたち こふん
☆形からみる古墳 その2☆

岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第41号

2025年 6月 13日発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)
TEL : 0223 - 25 - 2302

これまでの通信
はこちらから!

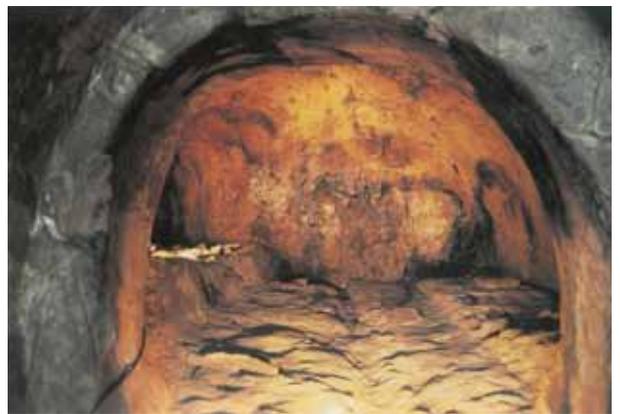


今回の通信も、全国各地に古墳がつけられた時代=古墳時代（3世紀おわり～7世紀おわり）*約1800年前から400年間）を取り上げます。第2回となる今回は「横穴墓」について特集します。お墓の種類の一つで、丘陵の斜面に穴を開けて墓室を設けたものです。古墳時代の5世紀おわり頃から九州地方に出現し、県内では6世紀後半頃から登場します。宮城県は横穴墓群が見つかった最北の地域であり、さらに岩沼市は、県内でも有数の横穴墓群がつけられた地域です。市内の遺跡を例に、形や作りなどをお伝えします。

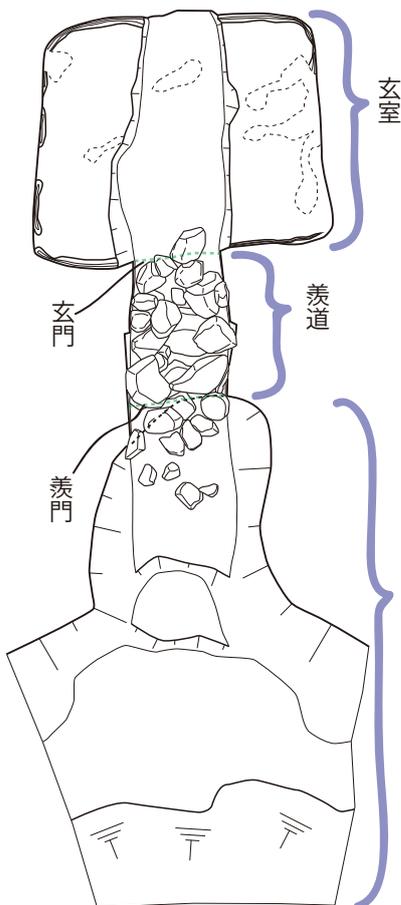
ひきこみ よこあな ぼくふん
引込横穴墓群（土ヶ崎4丁目） *現在は住宅地



引込横穴墓群6号墓の玄室



横穴墓の構造



ぜんていぶ
前庭部…横穴墓の入口
せんもん せんどう
羨門…羨道の入口
せんどう げんしつ
羨道…入口から玄室までの通路
げんもん
玄門…玄室への入口。
げんしつ ひつぎ いたい あんち へや
玄室…棺に遺体を入れて安置する部屋

ちやうこくじ
長谷寺横穴墓群の出土品



とうかい
市内で発見された東海地方生産の須恵器



☆ここがポイント!☆

- ・岩沼市は県内有数の横穴墓群地域
- ・東海地方との活発な交流が分かる
- ・副葬品には様々な種類がある。



せんがみやま ゆる つづ
岩沼市には千貫山から東へ緩やかに続く丘陵の斜面などにも横穴墓群があります。横穴墓の副葬品（遺体とともに埋葬し、刀やガラス製品など亡くなった人が愛したもの）には、東海地方で生産されたものもあり、岩沼が古くから遠くの人々と交流をしてことが分かります。副葬品はふるさと展示室にもあります。ぜひお越しください。

市内の横穴墓から出た副葬品



石や貝を加工して作った
勾玉（まがたま）など